

あの頃の風景

おくのほそ道 第5回

行き来を支える 「須賀川」

株式会社建設技術研究所/地球環境センター
松嶋健太 MATSUSHIMA Kenta (会誌編集専門委員)

『世の人の見付けぬ花や軒の栗』



① 須賀川一里塚。芭蕉もここを通り須賀川宿に入った

元禄2(1689)年3月27日(新暦5月16日)に江戸深川の採茶庵を発った松尾芭蕉は、弟子の河合曾良を伴い、同年4月20日(新暦6月7日)に白河の関を越え奥州に分け入った。新緑の中、そのまま奥州街道を北上した芭蕉一行は、2日後の4月22日(新暦6月9日)に須賀川宿に到着する。

『おくのほそ道』の全行程約600里(2,400km)を、約150日という驚くほどの速さで踏破したことから、芭蕉忍者説などもでてくるわけであるが、その旅の中では異例とも言える8日間をここ須賀川で費やした。

よほど居心地が良かったのか、当時逗留先となった須賀川宿駅長の長谷川等躬を中心とした須賀川俳壇のレベルの高さゆえか、芭蕉の筆による『おくのほそ道』の簡潔な記述からうかがうことはできない。

須賀川宿は、福島県中通り地方のほぼ中央に位置

する須賀川市の中心市街地に位置した。須賀川の歴史は古く、旧石器時代から人の定住が確認されているが、地域の中心となったのは鎌倉時代以降の二階堂氏の支配の拠点となって以降である。その後、奥州の覇者伊達正宗が戦国末期に二階堂氏を滅ぼしてからは、蒲生氏郷の会津領に編入され、さらに白河領となり、この間領主が変転することになる。その間も須賀川宿は一貫して地域の重要拠点であり続けた。

中世は、道の奥であった奥州も戦国末期には宿駅の整備が進み、須賀川も奥州街道沿いの宿駅として整備が進んだ。加えて、須賀川宿は、奥州街道を分岐して会津から佐渡に抜ける会津街道(白河街道)の分岐点でもあり、まさしく交通の要衝としてその地歩を高めていったのである。

時代は下り、明治になるとそれまでの人馬による移



②(上) 昭和31(1956)年頃の須賀川本町商店街。須賀川宿時代からの中心市街地
③(右) 現在の本町通り。中央のNTTビルのあたりに芭蕉が滞在した等躬の家があった



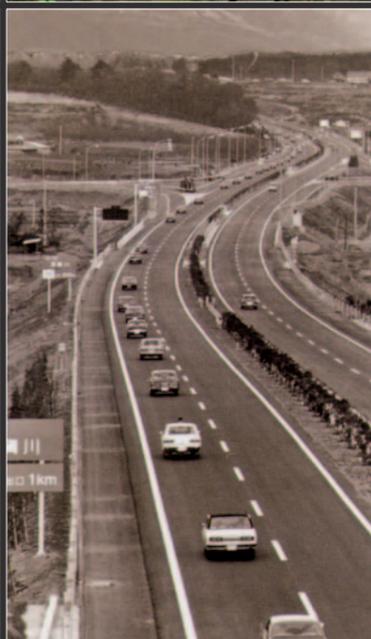
⑥(右) 建物をセットバックし電線を地中化することで、空間を広くとった現在の駅前通り
⑦(下) 旧駅舎時代の須賀川駅前。須賀川駅は蒸気機関車の排煙による火災の心配から中心市街地から離れた地区に設置されたという説もある



④(上) 明治20(1887)年に須賀川駅が開設され、大量輸送時代の幕があく(昭和34(1959)年)
⑤(左) 電化された現在の須賀川駅。花の町を演出するステンドグラスが印象的な駅として「東北の駅百選」に選定された



⑧(左) 須賀川の玄関口として昭和48(1973)年に東北縦貫自動車道須賀川ICが開通した。周辺には流通業務施設が建設され、地域産業の発展を支えた
⑨(下) 現在の東北縦貫自動車道須賀川IC付近。陸運を支える姿は今も変わらない



動から大量輸送の幕開けとなる鉄道が導入された。須賀川にもその波は届き、明治20(1887)年には須賀川駅が須賀川宿の中心部から数kmほど離れた場所に開設されることになる。鉄道は戦後に電化され、さらに昭和57(1982)年には東北新幹線が開通し、高速輸送時代の幕が開く。

陸路も自動車の普及に伴い道路網の整備が進み、従来の国道4号に加えて昭和48(1973)年には東北自動車道が開通し、須賀川ICが市内に設置された。さらに狸の住職の伝説を持つ市東部の狸森には、韓国仁川への定期便(現在は震災の影響で運休)を有する福島空港が平成5(1993)年に整備され、国内では大阪と新千歳に定期便を就航するなど、福島県の空の玄関となった。

須賀川は、我が国の交通システムの発達に歩調を

合わせるように、街道、鉄道、高速道路、空路と交通上の結節点として重要な役割を今も担っているのだ。

地域において移動手段が確保されることは、物流によって経済が動くだけでなく、人が動くことによって文化の交流が促されることを意味する。芭蕉の7泊もの逗留が「本町芭蕉まつり」のように、今なお須賀川に俳句文化を根付かせるきっかけとなったようにである。

芭蕉の昔から交通網上の重要拠点であること、俳壇に代表される文化の高さが須賀川のこれからを支えてくれると思えてならない。

<参考文献>

- 1) 須賀川市編(2005)『須賀川市制施行50周年記念誌』須賀川市
- 2) 須賀川市編(1995)『須賀川市制施行40周年記念誌』須賀川市
- 3) 須賀川史談会編(1979)『ふるさと思い出写真集18須賀川』国書刊行会
- 4) 須賀川市教育委員会編(1981)『須賀川市史別巻 郷土須賀川』須賀川市

<写真提供>

- ① 須賀川市提供